男声合唱団
昴ニュース

No.836
2026.9.18
発行：男声合唱団 昴
レッスン会場：
大阪市中央区谷町７丁目1-39
谷町第２ビル308号 ねむかホール
連絡先：090-6058-5652(立川)

昴第26回総会を開催



8月31日(月)、ねむかホールで第26回昴総会が開かれました。参加者は16名、議長に寺脇さんを選んで活発な論議が行われました。

今年から、団内コンサートとは別の日に行い、合宿はしないことになりました。

詰込みスケジュールでしたが、総会後に、場所はそのままで特別レッスンを行い、その後、交流会を開催しました。

総会での主な発言

コンサート後の予定、日うた大阪祭典など

○11/23コンサート後に何をしていくのか？
○友の会の練習曲が決まってない。次の演奏会との関係もあるが、早く決めないといけない。
○昴ホームページに、新しく「団の最新の活動」という活動紹介のチラシなどを載せたものを作った。
○友の会など決めないといけないものは、話し合いを早くすべき。来年の大阪祭典について、昴として何をしていくか早く出して検討したい。
○大阪祭典は実行委員会など準備は進んでいる。企画も9割がた決まってきていて、徐々に出して行きたい。
○来年は、合唱発表会の日程が早いので、発表曲を早く決めていきたい。
○次の演奏会について、人数が減少しているが、男声合唱15～16人いれば十分できるので悲観することはない。みんなでやるためにどうしたらいいのかを考えていきたい。発表曲は、演奏会とは別に決めてもいいのでは。今回と逆で、その曲が次の演奏会に入ってもいい。
○コンサートが終わる前には、発表曲を決めておきたい。
○団員拡大について、月1回の日曜会員は一番手軽なシステムで、誰でも入ってもらえる可能性がある。自分から手をあげてくれる人は少ないので、こちらから忖度せずに声をかけていこう。歌の好きな初心者やどこかで合唱をやっている人にも。もう一人二人いたら日うたに行けたのにと、日うたに行けなかったことが逆に有利になる。

財政問題（コンサート、団財政）

○16回コンの収支見込みは？
○580枚がプラスマイナスの分岐点になる。
○チケットの普及のために郵送をいっぱい出す人もいて、ある程度負担を公平にすべき。例えば最低10枚を各自が買い取る方法も検討したらいい。売れない分は、500円で売れる人に買い取ってもらうこともできる。
○チケット郵送代の補助をしたことはある。
○削減するところもほとんどない。年間で赤字になり、コンサートの上がりを期待せざるを得ない状況か？
○このままいくと団費5000円という状況になる。
○チケットの買取案について、運営委員会で検討する。

役員体制

○組織部長の岡邑さんが病気でどうしようかという話があったが、休まれている間は、団長が代行することにして案どおりとします。

９～10月の活動予定（会議を除く）

9/18(金)	17:30	特別団員合同レッスン
〃	19:00	定例レッスン
9/20(日)	14:00	全国青年のうたごえ祭典@おおさか
〃	17:30	特別団員合同レッスン
〃	19:00	定例レッスン
10/ 2(金)	13:30	声楽中村教室
〃	17:30	定例レッスン
10/ 4(日)	14:00	昴友の会 うたごえ喫茶
10/ 6(火)	15:00	T1.T2パートレッスン
10/13(火)	13:30	声楽千秋教室Ⅰ
〃	18:00	Br.Bsパートレッスン
10/15(木)	16:30	声楽千秋教室Ⅱ
10/16(金)	17:30	特別団員合同レッスン
〃	19:00	定例レッスン
10/18(日)	14:00	特別団員合同レッスン
〃	16:00	定例レッスン
10/30(金)	17:30	特別レッスン
10/31(土)	11:15	非核の政府を求める会大阪40年のつどい出演

さあ　１６回コンサートまで６６日！ レッスン9回！ 大特急で券売りを急ごう！

事務局長　　立川孝信

いよいよ9月の声を聴き、コンサートまで66日となりました。

芸術の秋、忙しい季節となりました。大特急で券売りを急がねばなりません。前回阿倍野ではオープニングで立ち見が出るほどの盛況ぶりでしたが果して今回はどうでしょうか。

席が足らないより余る方がいいと千人収容のクレオ中央にしました。1階の800席は満席にしたいものです。毎回のレッスンごとに一人が5枚の入金があれば目途が立ちます。

今回の企画は愛と平和の歌を歌い広げてきた26年の歩みの中で自信を持ってお届けできる歌ばかりです。

多くの方に愛されてきた昴の歩んできた道をさらに歩み続けようと思いに溢れたコンサートになるでしょう。

高齢化の中、会場に足を運ぶのが大変かもしれませんが、だからこそ来ていただいて明日に生きる元気を持って帰っていただきましょう。「うたごえは生きる力」です。

人生100年時代大いに広げましょう！

仲谷奈津子さんから、「昴」宛に手紙をいただきました。
仲谷奈津子さんは、仲谷増廣さんの息子さんのお嫁さんです。
（イラストもご本人の手紙の中からです。）

昴の公演に行くと毎回すごく感動して、いっぱい涙が出て心が洗われる。

お父さんたちの優しく力強くまっすぐな歌声、カラフルなハンカチを手に踊ったり、コスチュームを色鮮やかにしたり、お父さんたちが可愛く輝くようすも楽しい。



いつ行ってもぎっしりの人、「前の席、空いてたらええなぁ」玄ちゃん（夫）と話しながら会場に向かう。

号泣してるのがステージのお父さんたちに見えるかもしれないけれど、やっぱり一番前！

お父さんたちの表情がよく見えるし、近いとお父さんたちの力強く優しいお声を思いきり受け取れるから。一緒に歌うコーナーも好きで、歌っているとまた…涙が出る。

コロナの時だったか、「昴の公演、次いつあるん？」とお父さんに聞いたけど、しばらくなさそうでさみしかった。

お父さんは昴のほかに合唱団に入っていたけれど、やっぱり私は昴が好き。

お父さん、ひとりひとりのくもりのないまっすぐな声が好き。

「昴友の会」に入りたいと玄ちゃんに言ったけれど、「ちゃんと通える？」となだめられた。

入りたい気持ちを、がまん・がまんしていたけれど「誰になにをいわれようと私の人生！」そう思い、先日、昴のおけいこに訪問してみました。



天国のお父さんと一緒に昴を応援したいと思います。

心より　　2026.8.29

仲谷増廣の息子（玄太郎）の嫁　奈津子より

「ノーベル平和センターと オスロ合唱団交流の旅」に参加して

Br　清水 恭太郎



6月3日から10日までの旅でしたが、ノルウェーまでは遠いです。片道20時間かかります。関空からタイ航空でバンコク経由5時間、オスロまで12時間のフライト。何とか身体が持ちこたえました。帰り便は三分の一の乗客だったので三つの席を使って寝転んで帰国出来ました。オスロ三泊、フィヨルドに行くための町ベルゲン二泊でした。今まで行った国の中で一番サービスの悪いホテルでした。シャワーと石けんの他に何も無い始末でした。

オスロ第一日目は、電車で20分ぐらいでオスロ中央駅へ行き、オペラハウスとムンク美術館の見学。ムンクがノルウェーとは知らなかったです。「叫び」が有名ですが、彼のその他の作品もそれなりに見学をしました。早めにホテルに帰り、コーラスの初めての練習をしました。

二日目は、「ノーベル平和センター」の見学で初めてノーベル平和賞のみノルウェーで表彰されているのを知りました。昔スウェーデンのストックホルム市役所で「ノーベル賞受賞式」が行われている事を教えられていたので、二つの国に分かれている事は知りませんでした。その後キリスト教協会関係の介護施設の見学をしましたが、中身の説明が聞くことができなかったのが残念でした。ただ僕らが持って行ったコーラスを聞いてもらっただけでした。

三日目は、一日中オスロ大学植物園で合唱などの交流の為、会場の見学と植物園の見学をしました。オスロ大学女性コーラスは40名ほどで、アカペラでとても素敵な透き通った声で披露してくれました。もう一つは地域の若い人たちのブラスバンドでした。この植物園には2017年にICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）が、ノーベル平和賞受賞されたときに、樹齢200年を超え80年前に被爆したイチョウの種子を、ノーベル平和センターのあるオスロの植物園に送りました。2024年、日本被爆者団体がノーベル平和賞を受賞し、授賞式に赴いた広島県被団協の佐久間邦彦理事長は、「広島のイチョウの木」に7年ぶりに会い、その前での「合唱交流」を計画されたのが今回の旅でした。

四日目は、以前からの私があこがれていたフィヨルド見学の為、ベルゲンへ移動。約1時間のフライト。昼からベルゲンの町とフィヨルドが見える山にケーブルカーに乗り散策して楽しみました。

五日目は、朝は2時間ほど鉄道の旅、昼から船に乗り換え5時間ほどフィヨルド見学でした。あいにく天気が悪く雨だったので、景色はもう一つでした。スイスの景色とよく似ている感じがしました。山にはまだ雪が残っている状態でした。

今回ノルウェーを始めて訪れ、物価が非常に高い（例えば500ccの缶ビールが600円など）、現金が使えない、機械化が進みすぎて高齢者住みにくいなど感じた旅行でした。